

2021年10月22日

住宅地盤品質協会会員 各位

「地盤データ偽造」の記事と当協会の対応について

NPO 住宅地盤品質協会
理事長 塚本 英

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2021年8月22日付の朝日新聞朝刊に、当協会会員企業による「地盤データ偽造」の記事が掲載された件について下記の通りご報告いたします。

1. 記事に対する対応

- ・事実関係につきましては、当該企業のホームページ（9月17日付）に掲載されております。
- ・住品協として事実関係を確認するため当該企業と面談し、調査データ偽造の経緯および再発防止策の説明を受けました。その際当該企業代表者より、多大な迷惑をかけたとして住品協を退会する旨の申し入れがありました。

2. 不正防止対策

全国的業界団体の住品協として、2022年3月24日に開催される「住品協技術報告会」において次の内容の発表を行い、調査データ不正の注意喚起をすることとしました。

・発表特集タイトル

最新の地盤調査報告書作成システムの紹介
～調査データ偽装や誤入力を防止するための取り組み～

・内容

住品協理事長による今回発表特集の企画経緯と趣旨の説明
システム会社、調査機器会社5社によるデータ不正防止に関する機能紹介

本報告会は対面ではなく web セミナーで行います。詳細及び参加申し込み等につきましては、後日地盤通信やホームページでお知らせいたします。

以上、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬具